



私は、平成13年7月13日、戦後7代目の厚岸町長として就任以来、本年7月12日をもって、6期の任期満了により、町長の職を退任をいたします。

永年にわたる、町議会議員各位をはじめ、町民の皆様、そして、関係機関団体の皆様のご理解とご協力のもと、着実に町政を進めることができましたことを、心より感謝申し上げます。

今、町長として在任した24年間を振り返りますと、私が就任した当時は、地方分権一括法の施行により、中央から地方の時代へ、国は何をしてくれるかではなく、私たちは何をなすべきか、自らの発想でどうまちづくりを進めるか、真の地域力が問われる時代となりました。加えて、「三位一体」の改革に伴う厳しい財政状況の中にあつて、「財政危機からの脱却」を目指し、3次にわたる厚岸町財政運営基本方針」を策定し、さまざまな町政改革に取り組み、財政の健全化を図りながら、3期にわたる「厚岸町総合計画」に基づき、厚岸町の新時代を切り拓き、町民の皆さん、だれもが誇りを持てるまちを目指してまいりました。

えましたが、私が一貫して「町政の最重要課題」に掲げてきた、「基幹産業である漁業と酪農業の振興」をはじめ、「防災・減災対策」、「少子高齢化対策と子育て支援」、「観光振興施策」、「快適に暮らせるまちづくり」などの重点施策を推進してまいりました。

また、未曾有の事態を引き起こし、これまでの町民生活を大きく変容させることとなった、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応や、地元の37年にも及ぶ悲願でありました「厚岸道立自然公園」の国定公園化に向けた取組、令和5年9月に天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、本町を舞台に開催された第42回「全国豊かな海づくり大会」北海道大会など、本町の歴史と町民の心に残る大事業についても、町民の皆さんと共に、粘り強く向き合うことで、成功へと導いてまいりました。

私が24年にわたって運営してきた町政の実績とその評価は、町民の皆さんに委ねられるところですが、私が生まれ育ったふるさと厚岸のまちづくりに、永きにわたって携わることができましたのは、この上ない幸せであり、私の誇りであります。

これは、常に熱心な政策議論をいただけた町議会議員の皆さんと、私と意思を共有し、共に行政を推進する優秀な職員を支えがあったからこそ



平成24年1月 厚岸町学校給食センター業務開始セレモニー



平成27年4月 厚岸町太田活性化施設「らくとびあ」開所式



平成30年2月 厚岸ウイスキー初出荷式

そ、どんな困難に直面しても、町長としての使命を果たすために、諦めず、挑戦を続けてこれたのだと思っております。

厚くお礼を申し上げます。

そして何より、永きにわたって私を信じ、支持してくださいました町民の皆さんに心から感謝と敬意を表します。

また、友好都市山形県村山市並びに東京厚岸会をはじめ、ふるさと会に縁のある方々からの温かいご厚誼に感謝いたします。

「私は願う。」「厚岸を愛したすべての人の悲願は達せられた」この言葉は厚岸大橋の完成記念碑に刻まれている碑文の一節であります。

この石碑が示すとおり、昭和47年9月の厚岸大橋完成は、私はもとより、町民誰もが悲願達成に喜び、震えたことであります。

私は町民には、どんな困難があろうとも見事にそれを成し遂げ、新たな発展をできる力があると思っています。

これからは、新町長となりました三浦克宏新町長のもとで、厚岸町がますます発展し、素晴らしい未来を築いていくことを心より願っています。町民の皆さんのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、退任の挨拶といたします。

ありがとうございました。

在任中の主な出来事



令和元年8月 山形県村山市表敬訪問 (むらやま徳内まつり)



令和4年9月 厚岸大橋開通50周年記念事業「厚岸大橋を歩いてみよう」



令和5年9月 第42回全国豊かな海づくり大会 北海道大会